

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 6 部門第 2 区分

【発行日】令和 2 年 3 月 26 日 (2020.3.26)

【公表番号】特表 2020-504844 (P2020-504844A)

【公表日】令和 2 年 2 月 13 日 (2020.2.13)

【年通号数】公開・登録公報 2020-006

【出願番号】特願 2019-536482 (P2019-536482)

【国際特許分類】

G 0 9 F 9/00 (2006.01)

G 0 9 F 9/30 (2006.01)

H 0 1 L 51/50 (2006.01)

H 0 1 L 27/32 (2006.01)

H 0 5 B 33/02 (2006.01)

H 0 5 B 33/04 (2006.01)

【 F I 】

G 0 9 F 9/00 3 4 6 A

G 0 9 F 9/30 3 0 8 Z

G 0 9 F 9/00 3 5 0 Z

H 0 5 B 33/14 A

H 0 1 L 27/32

H 0 5 B 33/02

H 0 5 B 33/04

【手続補正書】

【提出日】令和 1 年 7 月 4 日 (2019.7.4)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

表示素子、可撓性基材、支持構造及び駆動チップを含み、前記表示素子は前記可撓性基材上に位置し、前記可撓性基材は前記支持構造上に位置し、その中、

前記支持構造の中に凹溝が設けられていて、前記凹溝は前記駆動チップを収容するために用いられることを特徴とする可撓性表示パネル。

【請求項 2】

前記支持構造の厚さは前記駆動チップの厚さ以上であることを特徴とする、請求項 1 に記載の可撓性表示パネル。

【請求項 3】

前記凹溝の形状と位置は前記駆動チップの形状と位置にマッチすることを特徴とする、請求項 2 に記載の可撓性表示パネル。

【請求項 4】

前記支持構造は支持膜を含むことを特徴とする、請求項 1 乃至 3 のいずれか 1 項に記載の可撓性表示パネル。

【請求項 5】

前記支持構造は支持膜と緩衝部材とを含み、前記支持膜は前記緩衝部材上に位置し、前記可撓性基材は前記支持膜上に位置することを特徴とする、請求項 1 乃至 3 のいずれか 1 項に記載の可撓性表示パネル。

【請求項 6】

前記支持構造は支持膜と放熱部材とを含み、前記支持膜は前記放熱部材上に位置し、前記可撓性基材は前記支持膜上に位置することを特徴とする、請求項 1 乃至 3 のいずれか 1 項に記載の可撓性表示パネル。

【請求項 7】

前記支持構造は支持膜、緩衝部材及び放熱部材を含み、前記支持膜は前記緩衝部材上に位置し、前記緩衝部材は前記放熱部材上に位置し、前記可撓性基材は前記支持膜上に位置することを特徴とする、請求項 1 乃至 3 のいずれか 1 項に記載の可撓性表示パネル。

【請求項 8】

さらに第一薄膜、第二薄膜及び接続部材を含み、その中、

前記第一薄膜は前記表示素子上に位置し、前記接続部材は前記第一薄膜上に位置し、前記第二薄膜は前記接続部材上に位置することを特徴とする、請求項 1 に記載の可撓性表示パネル。